

森林技術指導官に学ぶ演習林管理

今の演習林の現状、調査方法を指摘していただきより良い森林になるよう管理方法を学びました。



協力

飛騨森林管理署

実施日

平成25年9月26日(金)

場所

高山市清見町三日町菅平

対象

環境科学科 1年～3年

10人

全ては未来に残すため 数十年数百年先の姿を描き未来に残る森林を育成する。
木材市場の現状を知り、価値のある木材資源を生産する。



太く、まっすぐで使える木は出荷し、将来に残す木を決め、その木を育てるために何をすればいいのかを考えて森林を管理していく。

機械を使った測樹法、伐採する樹木、残す樹木の選木方法を学びました。



講師

日置 順昭さん

(飛騨森林管理署森林技術指導官)